

# SCOUTING

2023  
No.755  
5



特集

## 2023-2032中長期計画

2023(令和5)年度事業計画

第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト



SCOUTS  
Creating a Better World



そなえよつねに  
ボーイスカウト



CONTENTS

- 02 地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して  
～ 2023-2032中長期計画の概要 ～

---

- 04 2023 (令和5) 年度 事業計画

---

- 06 社会的課題の解決へ挑戦するボーイスカウトの100周年

---

- 07 2022 (令和4) 年度 第41回富士スカウト代表表敬

---

- 08 ニッポン全国元気団紹介  
愛知連盟 小牧第1回

---

- 09 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ  
カブスカウト対象 “新チャレンジ章”

---

- 10 全団調査から見えてくること  
～ 2019から2022をとおして～

---

- 11 団情報ページを活用しよう!

---

- 11 全国防災キャラバン

---

- 12 各部門の青少年プログラムの取り組み

---

- 14 第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト  
入賞作品発表!

---

- 17 全国組織拡充委員長会合とは

---

- 18 野外活動のための安心・安全講座  
2021 (令和3) 年度  
そなえよつねに共済 事故データ分析

---

- 20 第13回日本アグーナリー  
ローカルホットライン

---

- 21 日本連盟創立100周年記念基金に  
ご寄付をいただいた方

---

- 22 100周年記念 | ひとり親家庭の子ども100人へ  
ボーイスカウト体験を  
信仰奨励

---

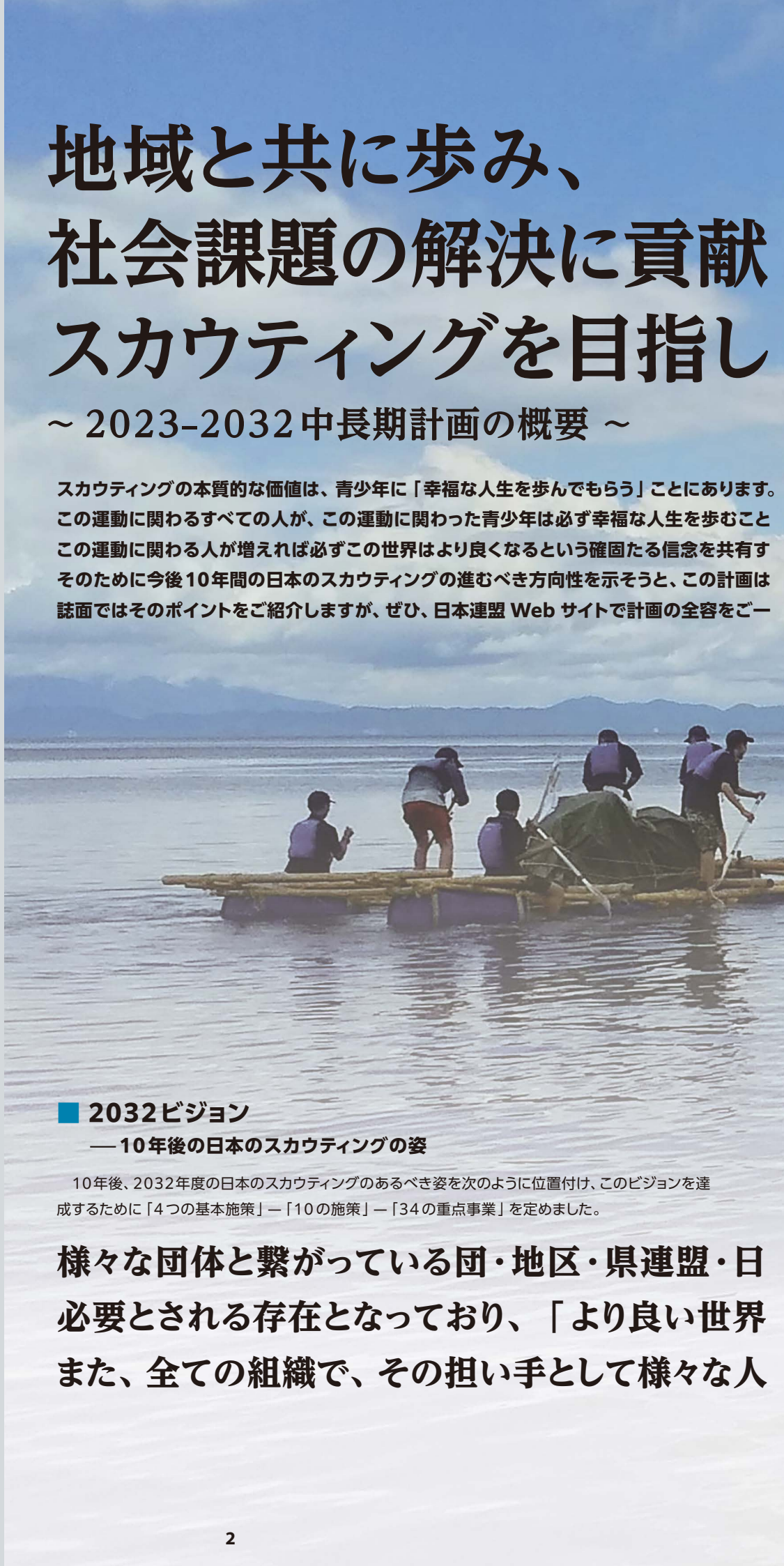
- 23 維持会員

---

- 24 スカウトショップ

# 地域と共に歩み、 社会課題の解決に貢献 スカウティングを目指し ～ 2023-2032 中長期計画の概要 ～

スカウティングの本質的な価値は、青少年に「幸福な人生を歩んでもらう」ことにあります。この運動に関わるすべての人が、この運動に関わった青少年は必ず幸福な人生を歩むことこの運動に関わる人が増えれば必ずこの世界はより良くなるという確固たる信念を共有すそのために今後10年間の日本のスカウティングの進むべき方向性を示そうと、この計画は誌面ではそのポイントをご紹介しますが、ぜひ、日本連盟 Web サイトで計画の全容をご一



## ■ 2032ビジョン

### — 10年後の日本のスカウティングの姿

10年後、2032年度の日本のスカウティングのあるべき姿を次のように位置付け、このビジョンを達成するために「4つの基本施策」—「10の施策」—「34の重点事業」を定めました。

様々な団体と繋がっている団・地区・県連盟・日必要とされる存在となっており、「より良い世界また、全ての組織で、その担い手として様々な人



## 4つの基本施策

### 施策Ⅰ 様々な団体等と連携し地域に根差したスカウティング

様々な団体等と連携を進め、相互に補完して地域に根差すスカウティングを目指します。さらに、私たちが「地域のために何ができるか」を常に考え、地域に貢献することで、それぞれの地域におけるスカウティングの価値を高める取り組みを進めます。

### 施策Ⅱ 全ての人に開かれたスカウティング

新規加盟員を増やす取り組みやこの運動のすそ野を広げるために「特色のある団」の設置の研究、実証を進めます。また、中途退団抑止施策としてのスカウトの保護者へ焦点を当てた施策のほか、スカウトはもちろんスカウティングを支える成人を増やす取り組みを進めます。

### 施策Ⅲ 青少年の成長・社会的課題の解決に貢献するスカウティング

スカウトが幸福な人生を歩むために、地域や社会、身近な仲間から必要とされることで自己有用感を高め、スカウトスキルとは野外活動に必要なもののみならず、自立して生きていくために必要なものと位置付け、どの部門においても地域や生活に密着したプログラムを展開します。また、(仮称)「日本青少年プログラム方針」を策定し、プログラム開発を進めます。

### 施策Ⅳ 強固な財政基盤を持ち効率的な事業執行を行う日本連盟

良質なスカウティングをスカウトに提供するため、加盟登録料に依存しない、外部資金を獲得するための取り組みを強化します。また、時代に即した ICT の活用により必要な情報が届けられるよう情報提供のあり方を見直すほか、ジェンダーバランス、青少年の意思決定プロセスへの参画などにも引き続き取り組みます。

## 中長期計画の策定にあたり

日本連盟には10年ごとに日本のスカウティングの進むべき方向性を示した中長期計画が策定されています。2023(令和5)年度は、第3期中長期計画1年目の年となります。

この中長期計画では、10年後の2032年の日本のスカウティングの姿はどうあるべきかという「ビジョン」を明確にし、未来から現在の課題にアプローチするバックキャストにより4つの基本施策・10の施策の下に34の重点事業を設定し、推進することとしています。

重点事業の中には、かなりチャレンジングなものもあります。しかし、目まぐるしく変化する社会状況にあつて、一人でも多く青少年にスカウティングを提供す

る、すなわち、一人でも多くの青少年に幸福な人生を歩んでもらうためには、そのいずれもが「2032ビジョン」を具現化するためには欠くことのできないものです。

この計画の策定にあたっては、評議員会、県連盟代表者会議、全国県コミッショナー会議などでもご意見をいただきました。そういう意味では、スカウティングに関わる多くの人の知恵や想いが詰め込まれています。ぜひ、ホームページにも掲載されています本編をご一読ください。そして、これから日本のスカウティングが進もうとしている方向性をご理解いただき、一人ひとりが「2032ビジョン」を自分事とし捉えて、その具現化にご協力いただくようお願いいたします。

第3期中長期計画検討会議 議長 木村 寿宏  
(理事 組織拡充委員長)

# する て

ができる、  
ることを大切にし、  
作られました。  
読ください。

本連盟(以下、全ての組織という)が国際社会や地域から  
をつくる」ことに貢献する青少年を一人でも多く育てている。  
材が活躍している。

日本連盟 Web サイトにて中長期計画を掲載しています。

[https://www.scout.or.jp/  
member/middleterm-plan/](https://www.scout.or.jp/member/middleterm-plan/)



では  
2023(令和5)年度  
事業計画とは……





# 2023（令和5）年度 事業計画

## 最重点施策 社会に貢献できるスカウトを

今年度（2023年度）は、前ページで紹介した新しい中長期計画（2023-2032）の初年度にあたります。10年間の計画を着実に進めていくための第一歩として、今年度の事業計画はたてられました。「ワクワク自然体験あそび」の全国展開やローバースカウトの育成などが重点展開事業に含まれていることなどがその現れです。

まずはこちらでその全貌を掴んでいただき、ぜひ、事業計画の全文を日本連盟 Web サイトよりご覧ください。

### 重点展開事業

#### 1 「ワクワク自然体験あそび」の全国展開

地域の行政機関、教育機関をはじめとした、地域社会でのボーイスカウト認知度を高めると共に、エントリー部門のスカウト加入を推進します。【中長期計画：基本施策Ⅰ、Ⅱ-1-⑥】

#### 2 25WSJ 派遣

ボーイスカウト活動の魅力の一つである国際交流体験の機会とし、参加者のこれからのスカウト活動充実と、スカウト活動の魅力为社会と加盟員（保護者も含めた）に発信する。【中長期計画：基本施策Ⅰ-2-②、Ⅱ-2-③、Ⅲ-3-②】

#### 3 地域社会、国際社会に貢献するローバースカウトの育成

スカウト運動で育ったすばらしいスカウトを、社会並びにスカウトの保護者に示し、ボーイスカウト運動の人財育成面からの価値を社会、スカウト保護者、スカウトにアピールする。【中長期計画：基本施策Ⅱ-1-①、Ⅱ-1-③、④、⑤、Ⅱ-3-③、Ⅲ-3-②、③、④】

#### 4 加盟員、社会への円滑な情報発信・伝達方法の確立

スカウト運動の活性化の為、加盟員にとって必要な情報を、確実に、早く伝達できる仕組みを構築する。  
社会に対し、ボーイスカウト運動の価値を効率的に発信し、運動への協力者を増やし社会の認知度を高める。

#### 5 日本連盟のガバナンス強化

日本連盟の意思決定方法や、現在実施している事業の目的と進捗状況の見える化と、情報開示を推進するなどガバナンスを強化すると共に、青少年教育運動に携わる日本連盟のコンプライアンスをいっそう強化します。【中長期計画：基本施策Ⅳ】



# 育てるための仕組みを確立する。

## ■ 成果目標

- 1 2023年9月末までに、中長期計画に示されたビジョン実現の為に重点事業の行動計画を明確にする。
- 2 2024年1月末までに、1で明確になった各担当が設定した計画事業（2、3月予定も含め）執行率の100%実施
- 3 2024年3月末、加盟員登録数80,000人以上

その達成の為に施策例

- エントリー部門の加入推進
- 対象年代児童の加入率アップ（市場開拓）
- 中途退団防止推進
- 魅力あるスカウト活動展開（魅力向上）
- ボーイ部門以上からでも入団できる環境の構築
- 新たな市場開発

## ■ 2023年度事業計画について

2023年度から、第3次中長期計画が動き始めます。そこでは、10年後の日本のボーイスカウトがどうなっていきたいかが「2032ビジョン」として表されています。

スカウト運動に携わっている皆様とともに、2032年になる前にそのビジョンを達成させ、よりレベルの高い状況を目指すよう展開していきますが、社会の変化に伴いビジョン達成の為に事業もそれに合わせて修正していかないと、ビジョン達成が困難になると思います。

単年度事業計画は、それらの現状と事業展開状況、その結果がビジョンに近づいているかを、毎年度の重点事業評価結果から、優先順位を考慮し、単年度の事業計画を展開させるよう立案し、「2032ビジョン」達成を目指すツールと考えます。

そこで、2023年度は、新中長期計画のスタートにあたって、コミッショナー、運営委員会が具体的に活動しながら、事業展開していく風土を創り上げることを目指して計画を策定いたしました。

常務理事 出田 行徳



日本連盟 Web サイトにて2023年事業計画の資料を掲載しています。  
※ PDF ファイルが開きます。



# 社会的課題の解決へ挑戦する ボーイスカウトの100周年

日本の相対的貧困率は15.7%というデータがあります。しかしながらひとり親世帯、とりわけ母子家庭では半数以上が相対的貧困の状態にあります。負の循環など家庭の経済的格差が固定化され、経済的に厳しい家庭の子ども約3人に1人が、学校外の体験機会が何もないという体験の貧困「体験格差」も生じています。かつては家族が大きく、地域も分厚く、学校や企業の中にゆとりがありましたが、時代背景が変わったことをしっかりと認識することが大切です。イギリスに続いて世界で二番目に「孤独・孤立対策担当大臣」が設置された日本社会では「孤独・孤立」にしないように「家族機能の社会化」として誰かに支えられている、応援されているという地域の小さな繋ぎ直しが必要となってきています。

ボーイスカウトでは、自然をフィールドとした体験活動をスカウトへ提供するとともに、団家族として保護者との繋がりも生み、仲間づくりを拓けます。

団体の持っている価値を周囲に発信して働きかけ、資金調達を図ることを「ファンドレイジング」といいますが、単に寄付額が積み上がるだけではなく、社会に対して課題と解決策を働きかけて、共感を得ることが大切です。その一部が寄付として反応があるからです。単に「資金を提供してください」とお願いするものではなく、資金調達の働きかけを通じて、社会的認知が進み、その価値向上と資金獲得が相乗的に進むことを期待しています。

※ ファンドレイジング：非営利団体等が活動資金として寄付、会費、助成金、補助金などを集める行為の総称

## 100周年記念募金へのご支援に感謝



### 100周年特設サイト

<https://100th.scout.or.jp/>

日本連盟が100周年記念事業として「未来の子どもたち基金」と「デジタルミュージアム設立」を目的に実施した募金には個人・法人あわせて2千人以上の方からご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。感謝の気持ちとして、100周年特設サイトへ寄付総額とご支援いただいた法人の皆さまの社名などを掲載し、スカウティング誌には寄付者の皆さまのご芳名をご紹介します。

また、ひとり親家庭への支援を目的としたクラウドファンディングにも初めて挑戦しました。クラウドファンディングの報告については、本誌の22頁に掲載しております。

※ 未来の子どもたち基金：ひとり親家庭への支援と海外派遣への支援を目的とした基金です。

## 海外への支援も続けています！

以下の内容について、まだ支援を受け付けておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

### 【ウクライナ支援】

2月末時点で個人・法人の皆さま69件から約240万円のご支援をいただいております。[日本連盟で用意した寄付サイトを通じてのご支援分のみ]

🔍 ボーイスカウト ウクライナ支援

#### ウクライナへの募金呼びかけページ

<https://www.scout.or.jp/member/ukraine-bokin/>

#### 「ウクライナ緊急人道支援」寄付サイト

<https://congrant.com/project/scoutingjapan/4449>

### 【トルコ・シリア支援】

3月末時点で個人・法人の皆さま96件から約190万円のご支援をいただいております。[日本連盟で用意した寄付サイトを通じてのご支援分のみ]

🔍 ボーイスカウト トルコ・シリア支援

#### トルコ・シリア地震への支援呼びかけページ

[https://www.scout.or.jp/member/turkey\\_syria/](https://www.scout.or.jp/member/turkey_syria/)

#### トルコ・シリア地震応援寄付サイト

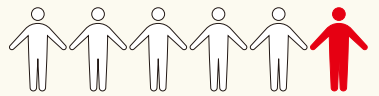
<https://congrant.com/project/scoutingjapan/6122>

#### 「ボーイスカウト緊急支援!」Yahoo! ネット募金

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5483002>

Yahoo! ネット募金では、Tポイントなどから寄付することが可能です。

6人に1人が  
相対的貧困の状態



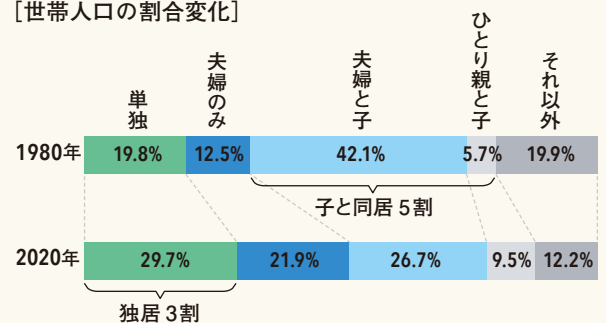
母子家庭では  
2世帯に1世帯が相対的貧困

図：厚生労働省「世帯構造別 相対的貧困率」を元に作成

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/17/backdata/01-02-01-18.html>

## 都市化等の複合原因によって、世代構成が急激に変化

[世帯人口の割合変化]



図：日本の世帯数の将来推計の概要(国立社会保障・人口問題研究所)の報告を元に作成

<https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Mainmenu.asp>



2022(令和4)年度 第41回

# 富士スカウト代表表敬

令和4年度の富士スカウト代表表敬を、次の日程で実施しました。代表スカウトは訪問前日に都内へ集合し、準備集会を経て表敬訪問に臨みました。



## 首相官邸・文部科学省

富士スカウト代表が首相官邸を表敬訪問し、岸田文雄内閣総理大臣と永岡桂子文部科学大臣からお言葉をいただき、代表スカウトによる決意の言葉を述べ、両大臣へ弥栄を贈りました。

**日時** 3月23日(木) 17:10～17:25

**場所** 首相官邸

**参加者** 代表スカウト16県連盟45人

**ボーイスカウト振興国会議員連盟より**

逢沢 一郎 会長

塩谷 立 副会長・事務総長

笠 浩史 理事・事務局長

山本 ともひろ 理事・事務局次長

**ボーイスカウト日本連盟より**

水野正人理事長

佐野友保専務理事

川瀬政美プログラムコミッショナー

松平頼昌国際コミッショナー 他



## 赤坂東邸

富士スカウト代表が赤坂東邸を表敬訪問し、秋篠宮皇嗣殿下からご接見を賜りました。ご懇談では、秋篠宮皇嗣殿下がスカウト一人ひとりとお話しになられ、代表スカウトがお礼と決意の言葉を述べました。また、殿下よりお言葉をいただき、スカウトから弥栄をお贈りました。

※写真は国立オリンピック記念青少年総合センターでの準備集会の様子です。



**日時** 3月31日(金) 10:00～11:15

**場所** 赤坂東邸

**参加者** 代表スカウト16県連盟45人

水野正人理事長

佐野友保専務理事

出田行徳常務理事

川瀬政美プログラムコミッショナー

松平頼昌国際コミッショナー 他



# ニッポン全国 元気団 紹介

## 愛知連盟 小牧第1団

愛知県北部の小牧市、織田信長や徳川家康も城を構えた小牧山をフィールドに元気に活動しているのが小牧第1団。1967（昭和42）年に発団以降、地域に愛され、仲間と力を合わせて歩みを続けてきた同団を紹介します。



## 入ってよかった！ 続けてよかった！

### こまき山おやこラリー

毎年5月の大型連休、子どもたちの元気な声の小牧山に響く。小牧第1団が友団である小牧第2団と共同して実施しているのが一般親子参加の「こまき山おやこラリー」だ。約20年にわたり実施されているこの事業は、行政の後援の得で毎回100組を超える参加者を迎え大盛況だ。子どもたちがワクワクするゲームが多数あり、団委員、隊指導者だけでなくベンチャー隊やローパー隊を中心にスカウト自身や保護者も積極的に運営に関与している。ビーバースカウトやカブスカウトもお手伝いをする姿は、一般参加者にとって印象深いものだという。「ゲームが楽しい」というだけでなく、奉仕するスカウトを知ってもらう

ことに大きな意味があるのだろう。

ラリーではモンキーブリッジが一番人気だそうで、これを制作するのはベンチャースカウトたち。毎年の事業を通じてパイオニアリングの技も磨いている。

最近はQRコードを利用し参加者の予約を行っており、スムーズにゲームに参加できると参加者に好評だ。導入のきっかけは混雑を解消するためだと思いきや、実はコロナ禍においての「密」を回避するため。つまり、コロナ禍においてもなんとかこの事業を継続しようという団の気概なのだ。「こまき山おやこラリー」は、団のみんなの力、そしてその根底にある団の気概の結晶だ。



受付をしているビーバーたち



一番人気のモンキーブリッジ

### 隊長の思い・やりがい・楽しみ

現在60人以上のスカウトが活動している小牧第1団。隊長に隊の様子を訊いてみた。

「スカウト自身が自ら考え行動することを大切にしています。昨年実施した3日間の長距離サイクリングでは、雨の中で苦労しましたが、スカウト自身は得るものが大きかったようです」そう語るのは古木 VS 隊長。スカウトの自主性を大切にしている。

「班長訓練から班集会、そして隊集会という流れを大切にしています。班長訓練の充実は特に重きを置いています」中谷BS隊長からは基本に忠実であろうとの強い意志が語られた。

「普段は小牧山が活動場所ですが、たまに近隣の山

に足を伸ばしたりしてます。進歩のサインをする時に成長を感じるとも嬉しいですね」と柴田CS隊長は目を細めた。カブ隊は保護者がとても協力的だという。

「もうてんこまいですよ！」と松川BVS隊長はアハハと笑う。ビーバー隊は現在20人を超える大所帯。「みんな個性豊かで元気いっぱい。大変ですけど成長を感じる時があるんです」笑顔の絶えない松川隊長から隊の雰囲気も察しられた。

すべての隊において「基本に忠実」を大切にしているという。そして団の連帯が隊長の皆さんの笑顔の底にあった。



VS隊長とにぎわうスカウト

### 地域と歩む小牧第1団

組織拡充に関しては、「基本に忠実」な活動が実施されていることとともに、地域に認知されていることがその前提であると小牧第1団は考えている。それらなくして募集活動は成り立たないだろうということだ。

ボーイスカウトの存在を街の人に知ってもらうべく、前述の「こまき山おやこラリー」の他、地域清掃や市民まつりの奉仕などにも積極的に関わっている。また小牧市が実施する「ジュニアセミナー」という事業にもアウトドアに関するコンテンツで協力するなど行政との連携も図っている。

そんな団の運営を担う団委員会は、資料作成など大変なこともあるが在り方に関して妥協を許さぬ一徹さがある。とはいえ和やかな雰囲気、スカウト一人ひとりの成長に運営面より優しい眼差しを注いでいる。

小牧第1団とはどのような団なのか、発団以来、隊指導者としてあるいは団指導者として関わってこられた船橋団委員長に訊いてみたところ、一言で力強く言い切った。

「入ってよかった小牧第1団！ 続けてよかった小牧第1団！」



金華山登山の様子



企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ

# カブスカウト対象 “新チャレンジ章”

2018年から取り組みを開始したカブスカウト対象「新チャレンジ章」に、2023年度も新たなプログラムが追加されます。自分が好きなことや興味のあることを見つけて、挑戦したいというスカウトの気持ちを育むものとして、進歩の一環としてぜひご活用ください。

新しく仲間入り！



## LPガスの達人

食事を作る、お風呂を沸かす、部屋を暖める。私たちの日常にかかせないエネルギーを全国に提供する岩谷産業と一緒に、「LPガスの達人」を目指してみましょ。ガスってなに？なぜガスの火は青いの？ どういうときに役立つの？ などの疑問や不思議を解決していきましょう。エネルギーであるガスを使うことで心も体も温まる。みんなで頭も体を動かして、おいしく楽しく学びましょ！ さあ、これで君もLPガスの達人だ！

### 申し込みスケジュール

バッジ申込 4月28日(金)～5月31日(水)※

申込結果通知 6月2日(金)までに通知

バッジの送付 6月上旬から順次申し込み団へ発送

※5月の連休を含むため、連休開始前から申し込みをスタートします。詳しくはWebページをご覧ください。

関連プログラムに取り組みよう

### ガスに関するサイトを見てみよう

ガスについて子ども向けにまとめられたサイト「ガスエネキッズ」が用意されています。ガスのキーワードから地球温暖化について考えたり、LPガスだけでなく、身の回りで使われているガスについて調べてみましょう。

<https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/kids/>

(ガスエネキッズで検索)

### 自分たちの住む街を観察してみよう

LPガスは社会のいたるところで使われています。家庭で使われるだけでなく、レストランやコインランドリー、タクシーなど乗り物の燃料としても使われています。自分たちで街中を歩いて、LPガスが使われている場所を探してみましょう。

### 申し込み受付中



フィールドマスター



セーフティーエキスパート



フォレストガーディアン



ピカッと探検家



おなかエキスパート



STEM博士



サイバーセキュリティヒーロー



ハイウェイナビゲーター

左記のプログラムが今年度も継続する予定です。通常のチャレンジ章と組み合わせ、隊で活用してください。

※ 各種バッジの在庫数に応じて、申し込みの期間は順次延長して受け付けます。

※ 一方、数量限定の取り組みでもありますので、在庫数により終了するプログラムもありますこと、ご承知おきください。



今後の新しい情報や、プログラムの申し込みは、日本連盟 Web サイトをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/challenge-badge/>





# 全団調査から見えてくること～2019から2022をとおして～

日本連盟では、昨年度で4年目となる全団調査2022を実施しました。各団のご協力に感謝申し上げます。入力していただいたデータは、1,800こ団×4年の蓄積となり、日本連盟や県連盟が施策を検討するための貴重な情報源となっています。定観測として4年間の入力内容による変化を見ていただく他、特集項目にも着目してください。

## 【定観測から】

### コロナ禍での4年間の変化

コロナ禍で活動の停滞を余儀なくされたが、復旧してきている

この4年間は、コロナ禍に翻弄されました。第1回の全団調査は、コロナ禍前の2018年度の実績調査でしたので、それと比較することにより、コロナ禍の影響が見えてきます。

2019年度は、集会数が著しく減少しました。しかし、オンラインの活用や感染対策を行った上での集会のノウハウができたことにより、集会数自体は2018年度の水準に戻ってきています。一方、宿泊を伴う活動は、十分にできていません。

この状況は、図1のグラフのように隊活動費の変化に如実に現れており、基本的に宿泊を伴う活動がないビーバー隊では元の水準に戻りつつありますが、カブ隊、ボーイ隊では下がったままです。

図1 スカウト一人あたりの隊活動費の変化

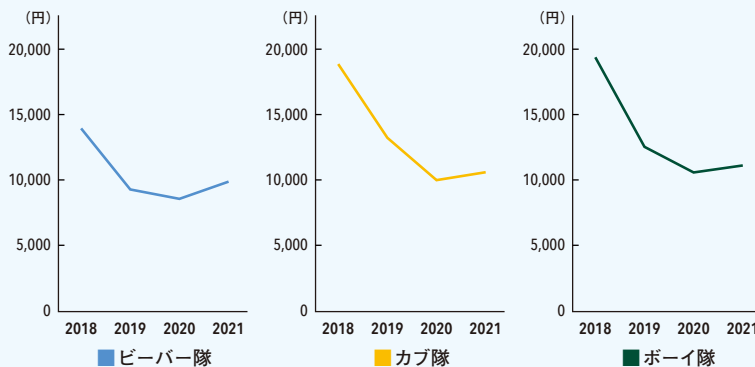
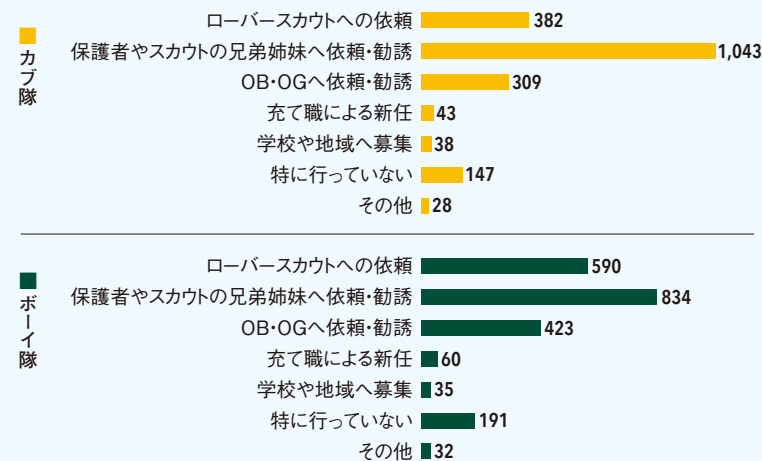


図2 指導者確保の方法 (2023年3月末時点)



## 【特集項目から】

### 指導者はどこから入ってくるか

今回の全団調査では Adults in Scouting (AIS) 委員会ができたこともあり、指導者の状況調査に重点を置きました。こちらではリクルート（指導者の確保）に関してご紹介します。

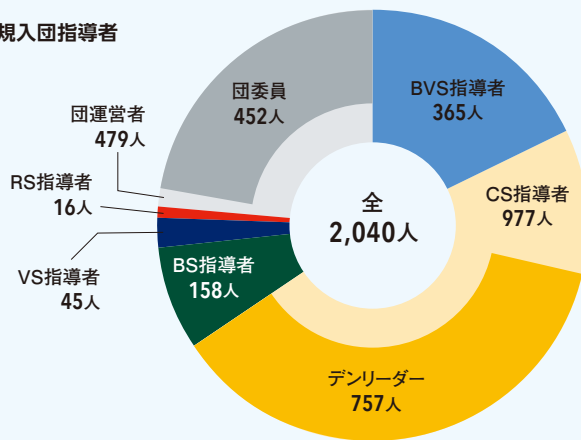
#### 新しい指導者は、保護者やスカウトの兄弟姉妹から確保している

図2のグラフのように、カブ隊で新しい指導者を確保する先は、保護者やスカウトの兄弟姉妹が多いことが分かります。しかし、ボーイ隊になると、スキル、体力、時間的余裕が要求されるためローバースカウトに依頼することが多くなっています。

#### 新しく登録する指導者は、カブ隊のデンリーダーまたは団委員が多い

図3のグラフのように、新しく登録する指導者の多くは、デンリーダーまたは団委員です。保護者が多いと思われますので、これらの方々には指導者と、指導者でない保護者の間を取り持つ役割が期待できます。この分野の指導者をどう訓練してこの運動に導くかが、重要になると考えられます。

図3 新規入団指導者



詳しくは日本連盟 WEB サイトの全団調査のページよりご覧いただけます。

🔍 全団調査 2022





## 団情報ページを活用しよう!

日本連盟では、全国の加盟登録団の情報を掲載できる「団情報ページ」を設けています。

コロナ禍を含むこの4年間で、ボーイスカウト体験や入団を希望する一般の方々からの問い合わせ件数は毎年増加しています(注1)。皆さんの団を知ろうとする際に参考にされている「団情報ページ」を活用いただき、地域の皆さんに情報を届けましょう。

### Q どんな情報を更新すればいいのですか?

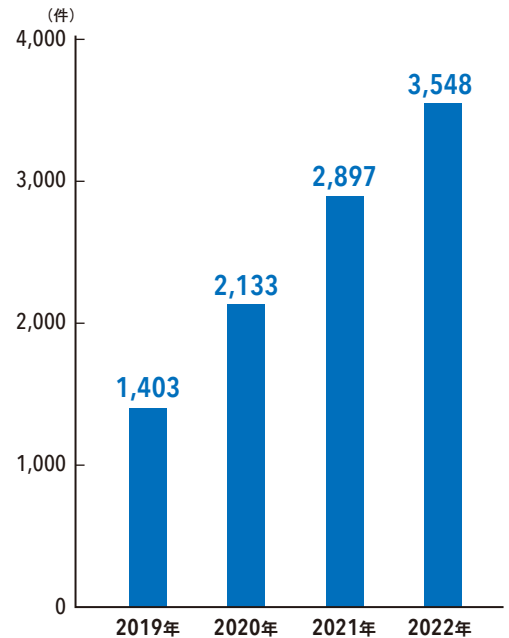
**A** 普段の団や隊の活動の様子や、特色など写真とともにご紹介ください。スカウト運動についての一般的な説明はこのページにおいては必要ありません。

### Q どれくらいの頻度で更新すればいいのですか?

**A** 3か月に一度くらいの頻度が季節感もあっていいのではないのでしょうか。日ごろの活動の詳細は、自団のWebサイトやSNSで発信してください。また、団情報ページの更新フォームに送信いただいたのち、内容の更新までに約一週間かかること、更新完了の通知はないことをご承知おきください。

### Q その他、ページ更新に際してアドバイスはありますか?

**A** 日本連盟Webサイトにアクセスする人の半数以上は、携帯・スマートフォン端末を使用しています。そのため、あまり長々と説明するより、簡潔な言葉で要領よく説明するほうが効果的ではないでしょうか。



注1 団情報ページからの問い合わせ件数推移

## 全国防災キャラバン

全国のイオンモールで地域の子どもたちに「防災」をテーマにしたプログラムを提供している「全国防災キャラバン」。2016年からスタートしたこのキャラバンは2022年度で7年目となり、32都道府県58会場で実施されました。コロナの影響が続くなか、会場ごとにプログラムの内容や展開方法を工夫しながら、地域の防災の意識を高めることに貢献しました。

昨年度は、一部の会場で〈イオン チアーズクラブ〉の皆さんにも参加していただきました。

### ■ 2023年度も全国で開催を予定しています。

会場の開催予定が決まり次第、日本連盟ウェブサイトに掲載していきますのでご確認ください。

### ■ 2023年は関東大震災から100年を迎えます。

これまでの互いに思いやる、助け合いのキモチを育む“もしものとき”の「思いやり防災」に加え、関東大震災当時に活躍したボーイスカウトの支援の様子をパネルで紹介します。



今年度は防災キャラバンの運営のコツなどもウェブサイトを通じてお知らせしていきます。

全国防災キャラバン

<https://www.scout.or.jp/member/bosai-caravan/>





# 各部門の青少年プログラムの取り組み

各部門において、現代の課題や環境変化に合わせたプログラムの見直し作業を進めています。前号に続き、SDGsとして世界を変えるための17の目標達成に寄与する「スカウトプログラムヒント集」と、カブスカウトが保護者と一緒につくる自分だけのカブブック「スクラップブック」についてご紹介します。

## ■ スカウトプログラムヒント集、公開開始!!【ボーイスカウト部門】

日本連盟では、世界スカウト機構の発信する「Scouts for SDGs」の呼びかけのもと、世界を変えるための17の目標・SDGsの達成に向けて、取り組んできました。SDGsの視点では、環境やリサイクルはもちろんのこと、貧困、フードロス、ジェンダー、防災といったテーマにおいて、知る・体験することにつながるプログラムを全国の指導者の皆さんより集め、「スカウトプログラムヒント集」を作成・公開しました。



プログラムサマリー

隊集会での展開だけでなく、班長訓練や班集会での展開のヒントなど、指導者だけでなくスカウトも活用できる内容を目指しています。隊の規模も情報として加えており、少人数でも取り組みやすい内容になっています。

今回、プログラムとして公開するものとして、プログラムを企画するための導入に使っていただくものが、プログラムサマリーとなります。今後は活動実施に役立つ、月間プログラムや年間スケジュールについてのヒントや、その他のテーマについても順次拡大を予定しています。



- 1 SDGsの目標達成や世界共通の社会課題、社会のニーズに応えるプログラムを展開したい。
  - 2 スカウトが少人数であっても目標をもって活動できるプログラムを展開したい。
  - 3 企業・団体、住民の方々も含めて、地域に根差したプログラムを展開したい。
- ➔ どれか一つでも当てはまる方は、スカウトプログラムヒント集を手にとってみてください。

### あなたの隊の プログラムヒントを大募集!

**私たちもSDGsを意識した  
プログラムをすでにやっているよ!**  
**地域の住民の方や企業・団体と  
一緒に活動しているよ!**

皆さんの隊で展開するプログラムのヒントやアイデアや募集します。皆さんの団で取り組んでいる活動が全国の団の活動に繋がります。必要なスカウトスキル、関連するSDGsの目標など、必要な項目を所定のフォームからお知らせください。

➔ 下のQRコードにアクセス!  
(Google フォームが開きます)



お寄せいただきたい内容  
プログラムタイトル/テーマ/目的/  
スカウトスキル/関連するSDGsの目標/  
展開に必要なゲーム/ボーイ部門を中心  
に他部門への展開方法/指導者への  
ヒント/PRポイントなど



## ■ 自分だけのスクラップブックを作ろう！【カブスカウト部門】

日ごろの組や隊の活動の記録や収集した作品をまとめ、スカウトの進歩や成長記録の管理として、自分だけの「スクラップブック」を活用してみましょう！ 3月に実施したオンライン説明会でいただいた意見や質問をまとめました。

### スクラップブックは 何のために作るのですか？

- ① 思い出をまとめることで、集めたり、記録する練習につながる。
  - ② スカウトや保護者と指導者の相互コミュニケーションを図る。
  - ③ スカウトが自分自身の成長を振り返り、成長を見つける。
  - ④ スカウト活動で作る計画書や報告書作成の練習となる。
- ハバザックの中で眠っている活動の成果を見える化して整理しましょう。

### どんなシーンで使えますか？

- ① 指導者がスカウトと一緒に、節目で成長や活動の成果を確認する。
  - ② 子どもと保護者が共に成長を確認することで、自己肯定感を高める。
- 入隊直後や、1年間の活動を終えて上進するタイミングも効果的です。
- ③ 体験イベントや団行事の際に、一般の方への活動の報告として活用する。
- 義務的に取り組むのではなく、スカウトと一緒に楽しんで作成しましょう。

### 具体的に何を残しますか？

- ① 活動中に拾った葉っぱや花
  - ② 電車やバスの切符（領収書）
  - ③ 見学した施設の半券・チケット
  - ④ 見学・訪問先のスタンプ
  - ⑤ 自分で撮った（撮ってもらった）写真
  - ⑥ 町探検で使った地図のコピー
  - ⑦ 活動の際に配った資料や書類
  - ⑧ 見学でもらったリーフレット
  - ⑨ チャレンジ章に取り組んだ報告書
- 忘れてしまう記憶に残すのではなく、ずっと残るスクラップブックに残しましょう。



スクラップ例 ①

### スクラップブックの作成で 必要ものは何ですか？（一例）

- ① リングファイル／まとめるための台紙
  - ② ノート・メモ帳／全てを一つに記録する
  - ③ アルバム台紙／粘着部分に挟み込む
  - ④ ポケットファイル／もらったものを入れる
- 大切なのはサイズです。子どもの手に合ったものを選んでください。
- 失敗したときに、そっくり入れ替えられるものを選ぶなどの工夫も大切です。
- 隊やスカウトの性格などを考慮して作ると良いです。

### こんなものがあると便利！

- ⑤ シール・マスキングテープ／デコレーションや固定のため
  - ⑥ えんぴつ・カラーペン・マーカー／記録のため
  - ⑦ 手張りラミネートフィルム／粘着部分に挟み込むため
- 飾りつけをすることで、すき間が埋まると楽しい仕上がりになります。



スクラップ例 ②

### 覚えておこう！ 作り方のポイント！！

- ① 年月日だけではなく、場所も一緒に記録する。
  - ② ものを貼り付けたら、何をしたのか少しでもメモを残す。
- 書くことに慣れてきたら、感じたことや感想なども残しておきましょう。
- ③ スケッチやイラスト、写真で記録する。
- 大切なことはその瞬間の感動を切り取ること。記録の方法をいろいろと試みましょう。





第50回

全国ボーイスカウト写真コンテスト  
入賞作品発表!

コロナ禍による隊活動の制限も解除され、スカウトたちの笑顔が戻ってきたのではないのでしょうか。活動の再開とともに全国各地より多くの応募がありました。今回、新しく審査員にご就任いただいた、榎原氏・古市氏・尾崎氏のコメントとともに入賞作品をご紹介します。

📷 撮影者のコメント    🗣️ 審査員のコメント

少年少女の部(中学校以下) 【応募総数 184点】



「みんなで楽しくおにぎりタイム！」

阿部 朱里 宮城・名取第1団 カブスカウト



📷 おにぎりが光っておいしそうに見える写真がとれました。カブ弁大好き🍙

🗣️ 3人の構図が良く、温かい信頼関係を感じる写真ですね。太陽の光でおにぎりが光っているところが良く、わざとではない感じがまた良いです。マスクの柄がそれぞれ違うところが、3人の個性を感じました。



「道を切り開けビーバー探検隊」

大橋 風結 東京・八王子第13団 カブスカウト



📷 八王子城跡の防空壕に行くときとった写真です。

🗣️ 洒落ている写真ですね。進んでかき分けていく感じが良く、背中のでキドキわくわく感が伝わってきます。秘密の場所に入っていく感じでもとても良いです。



「100周年にむけてジャンプ」

長尾 大悟 神奈川・川崎第43団 カブスカウト



📷 ジャンプしている瞬間を撮るのが難しかったです。

🗣️ シャッターのタイミングが良く、動きがあって良いです。元気いっぱいな感じ・楽しさや躍動感が伝わってきます。芸術点が高く、手前に影を入れてとっているのが良いです。



入選 「プラごみバスターズ出動!!」  
松野 葵  
神奈川・横須賀第4団  
カブスカウト



入選 「木の上で2SHOT」  
井筒 帆奈美  
神奈川・川崎第43団  
カブスカウト



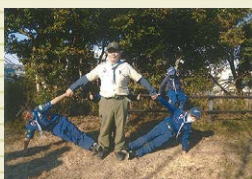
入選 「キレイに花を植えて」  
佐藤 結来  
宮城・泉第1団  
カブスカウト



入選 「ぼくのなか間」  
小濱 志宗  
埼玉・川口第15団  
カブスカウト



入選 「乗り物づくり」  
青柳 和葉  
東京・あきる野第1団  
カブスカウト



入選 「43団 組体操」  
法木 介成  
神奈川・川崎第43団  
カブスカウト



入選 「あなのあいたはっぱ」  
巽 瑚夏  
岡山・都窪第2団  
ビーバースカウト

※ 撮影者の所属等は応募時のものです。  
※ タイトル、撮影者コメントは応募時の表記をもとに掲載しています。  
※ プライバシー保護のため、一部加工しています。



青年成人の部(高校生以上) 【応募総数215点】



「勝負あり!」

渡邊 真弥子 山口・柳井第3団 ポーイ隊副長

◎ B-P 祭で集まった地区の合同チームでのモルックの試合。決勝戦の最後の一打で勝敗が決まった瞬間です。今日集まった仲間だけで一体感がいい。

■ 投げた子の悔しそうな表情で、勝敗が決まったなというのがわかり、モルックの楽しさが伝わる一枚です。グリーンが映えて、臨場感があり、写真に瞬間が溢れかえっています。再現できないところが良いです。



「つなぐ優しさ」

姫嶋 真基子 山梨・甲府第6団 カブ隊保護者

◎ 赤い羽根募金のときに小さい子のためにさっとしゃがんでお金を入れやすくしていたスカウトの優しさが印象に残りました。

■ この状態になるまでの物語が伝わる写真ですね。写真を撮った人の気持ちの優しさを感じます。どちらの子もいい体験の場ですね。光が大変キレイで純粋な心を感じます。



「ツリークライミング」



岩村 順子

大阪・大阪第71団 カブ隊副長

◎ ツリークライミングに挑戦! 見て見て! こんな高い所までのぼったよー。もっと上に行くよー。

■ 自分もやってみたいと思う一枚ですね。楽しそうです。写真としても木やロープのカーブの動きが出ていますね。緑のグラデーションがあり、色のバランスが良く、見て気持ちの良い写真です。



「優しいキモチも一緒にのせて」

矢内 浩美  
群馬・大泉第5団  
カブ隊副長



「写真博士 GET だぜっ!」

北見 鮎子  
神奈川・川崎第38団  
ビーバー隊副長



「しっかり見つめスケッチしています。」

桑原 恵理  
兵庫・姫路第6団  
カブ隊デンリーダー



「僕たちの船」

松岡 悠和  
京都・宇治第5団  
ベンチャー隊隊長



「もっと風を!」

渡邊 真弥子  
山口・柳井第3団  
ポーイ隊副長



「楽しい夕べ」

渡邊 真弥子  
山口・柳井第3団  
ポーイ隊副長



「ぼくにできること」

清水 綾乃  
兵庫・姫路第16団  
カブ隊保護者



オンラインの部 【応募総数 191点】

昨年より開催致しましたオンラインの部には191点もの投稿をいただきました。期間中に投稿いただいた作品の中から、「いいね」数の上位3作品と広報委員会で選んだ作品の中から上位7作品が入賞しました。



「自然に挑む!!」

bs kyoto22  
京都・京都第82団

総評として

全体として光やシャッターチャンス・何を伝えたいかが的確に捉えられています。写っている人たちがとても楽しそうで、優しさが出ています。自分もここにいたい、仲間になりたいと思う写真達です。やらせでない自由で素直な写真が多い。これからも日々の活動を見出しとして保管していただきたいと思います。



審査委員の紹介



**神原 透雄** (さかきばら ゆきお)  
自然・風土・旅をテーマとして国内外の撮影をしている自然派写真家。中でも日本の鳥々の取材を長年続ける。1980年代からは小笠原の魅力にはまり、今なお熱が冷めることなく撮影を続けている。  
日本写真家協会 (JPS) 会員



**古市 智之** (ふるいち ともゆき)  
新聞社のカメラマンを経てフリー。2013年度キヤノンカレンダー作家。第64回日本カレンダー展にて日本印刷産業連合会会長賞受賞。雑誌への執筆や各種フォトコンテストの審査員を多数務める。  
日本写真家協会 (JPS) 会員

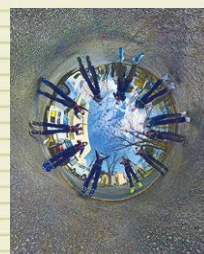


**尾崎 憲和** (おざきの りかず)  
日経ナショナル ジオグラフィック書籍編集長。1992年、早稲田大学第一文学部卒。金融系専門誌、IT専門誌および Web メディアの編集者を経て、2012年に日経ナショナル ジオグラフィックに転出。2015年より現職。太極拳の指導員。



「大きな輪」

林 知昭  
東京・小金井第2団  
ビーバー隊隊長



「いつも元気」

篠崎 隆成  
群馬・群馬町第1団  
カブ隊副長



「落ち葉大好き!!」

石井 那奈子  
東京・練馬第17団  
ビーバー隊保護者



「雪原の冒険者」

大澤 礼奈  
埼玉・東松山第1団  
ローバースカウト



「秋のお芋掘り」

柳原 心音  
滋賀・蒲生第2団

Canon

全国ボーイスカウト写真コンテストでは毎年、キヤノン株式会社に賞品提供のご協力をいただいています。



# 全国組織拡充委員長会合とは

組織拡充施策等の意見交換を通じてスカウト運動の拡大を図るために、日本連盟が都道府県連盟の組織拡充担当委員長を対象に開催する会合です。

## この会合の目的は

- 1 講演や先進事例の研究・意見交換をととして組織拡充施策の知見を得る場を提供すること
- 2 日ごろから組織拡充担当委員長同士が情報交換できるネットワークを構築すること

本会合では、(1)ワクワク自然体験あそびの全国展開、(2)中途退団抑止の推進、(3)団組織の強化推進支援に重点をおいた情報共有を行っています。2022年度は、47全ての都道府県連盟において「ワクワク自然体験あそび」事業が実施され、引き続き今年度の重点展開事業として、より積極的な事業実施を目指します。全国各団における組織拡充の取り組みの支援のため、同じ課題や特性によるグループ別の開催も積極的に実施する予定です。

## 開催方法は

オンライン会議も社会的に定着してきたなかで、2022年度は以下のように開催しました。

### 1 全県連盟ハイブリッド型会合 ⇒ 2日型

対面かオンラインのいずれかの方法で参加、組織拡充担当委員長以外の県連盟の役員等も一部プログラムにオンライン参加が可能。

### 2 グループ別オンライン会合 ⇒ 原則年2回・各回2時間程度

47都道府県連盟を組織拡充に関する課題や特性により7グループに分け、各グループに日本連盟組織拡充委員会委員を割り当てたオンライン上での会合。

## 2023年度の開催予定は

### 1 全県連盟オンライン会合

日程/7月1日(土)

### 2 全県連盟対面型会合

日程/10月28日(土)～29日(日)

会場/日本連盟スカウト会館

### 3 グループ別オンライン会合

各グループごとに開催日等を調整の上、年2回以上開催します。

グループ1	宮城県・三重・福岡県・佐賀県
グループ2	千葉県・富山県・石川県・静岡県・奈良県・鳥取・島根
グループ3	北海道・茨城県・群馬県・新潟・岐阜県・山口県・熊本県
グループ4	埼玉県・神奈川県・東京都・愛知・京都・兵庫・大阪
グループ5	栃木県・山梨・長野県・滋賀・広島県・愛媛県
グループ6	青森県・福井・徳島・香川・長崎県・宮崎・鹿児島県
グループ7	岩手・秋田県・山形県・福島・和歌山・岡山・高知県・大分県・沖縄県

## 参考 これまでの開催状況(過去3年間)

年度	形式	出席者	主なプログラム
2020	オンライン 1日型	41県連	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表「大学ローバーの設置について — 和歌山大学を例に〜」</li> <li>講義「全国調査から見た統計と県連盟における活用のすすめ」</li> </ul>
		75人	
2021	ハイブリッド 2日型	39県連	<ul style="list-style-type: none"> <li>水野理事長講演「組織拡充に力を尽くそう」</li> <li>事例発表「コロナ禍でも頑張っている募集活動」</li> <li>グループディスカッション</li> </ul>
		53人	
2022	ハイブリッド 2日型	42県連	<ul style="list-style-type: none"> <li>村田総コミッショナー講演「教育面から組織拡充を考える」</li> <li>事例発表「北海道連盟」「福井連盟」「愛知連盟」「福岡県連盟」</li> <li>講話「県連盟組織拡充のあるべき姿とは」他</li> <li>グループディスカッション</li> </ul>
		55人	





■ 野外活動のための安心・安全講座

2021（令和3）年度

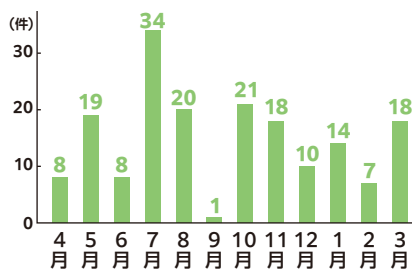
# そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データ分析の結果がまとまりましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険（2014年度からは共済）対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。2021年度の事故発生件数（報告件数）は178件で傷病の延べ数は269件でした。データやコメントなど、安全管理にお役立てください。

## 発生月別

COVID-19の影響で低下していた活動数が回復の傾向を見せたことに伴い、事故発生件数が2020年度の104件から、2021年度は178件と増加しています。また、9月の件数が1件となっています。こ

■ 月別事故発生件数 (n=178)



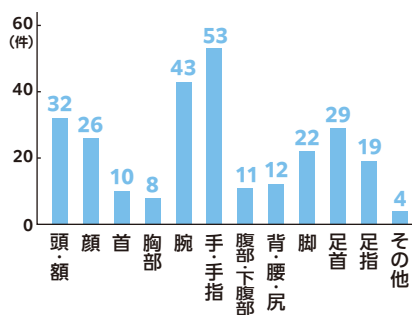
これは緊急事態宣言が発出されていた時期と重なります。

夏季と冬季に事故が多い傾向は例年と同様です。7月から9月の事故発生件数は全事故件数の30.9%を占めています。夏季の活動に特徴的な調理中の火傷や切り傷の他、ダニなどによる虫刺され被害も多数報告されています。12月から3月の事故発生件数は全事故件数の27.5%を占めています。この時期はスキーやスケート中の転倒などによる骨折や捻挫など重症化する事故が多くなっています。

## 部位別（延べ数）

受傷部位の傾向としては、頭部や顔、腕から先、脚下が83.3%でほとんどを占めています。この受傷部位の傾向は毎年変わらず、特に手・手指への受傷が多くなっています。

■ 部位別事故発生件数 (n=269)



手・手指への受傷の内訳を見ると、利き手側

でない手・手指に対して包丁での切り傷、ハンマーなどでの打撲、ダニなどによる虫刺されが多数を占めています。ハンマーを使用する際には利き手でない側は手袋をするなど、各作業の際には十分な安全対策が必要であることを改めて確認しましょう。

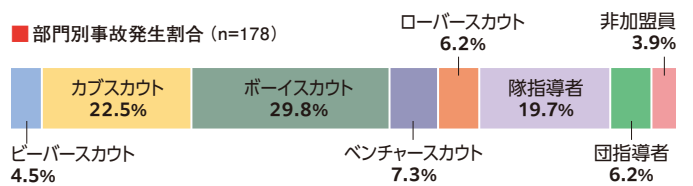
## 部門別 上位3傷病

	1位	2位	3位
ビーバースカウト	骨折 [3件]	脱臼・捻挫・靭帯損傷/犬・へび等咬傷 [各2件]	歯牙欠損 [1件]
カブスカウト	骨折 [16件]	打撲 [10件]	擦り傷 [8件]
ボーイスカウト	打撲 [12件]	やけど [11件]	擦り傷/骨折 [各10件]
ベンチャースカウト	脱臼・捻挫・靭帯損傷 [4件]	裂けた傷/やけど [各3件]	擦り傷/切り傷/骨折/歯牙欠損 [各1件]
ローバースカウト	打撲 [7件]	裂けた傷 [3件]	脱臼・捻挫・靭帯損傷 [2件]
指導者	骨折 [16件]	裂けた傷/打撲 [各6件]	切り傷 [5件]

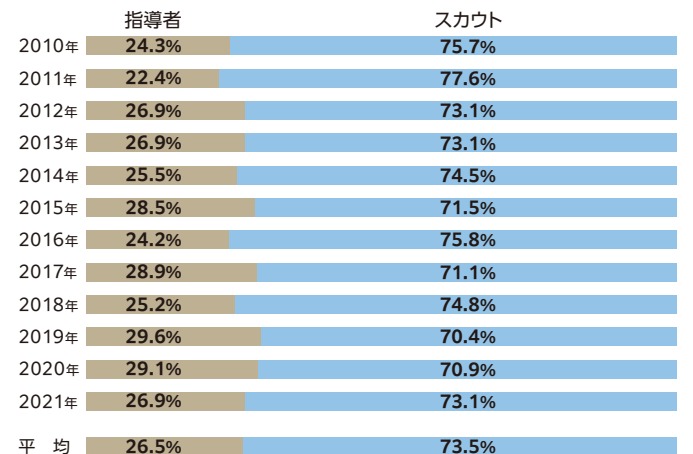
## 部門別

前年度に比べ、部門別の傾向はビーバースカウトが0.3%減少、カブスカウトが4.2%増加、ボーイスカウトが10.6%減少、ベンチャースカウトが3.5%増加、ローバースカウトが3.3%増加でした。全事故（非加盟員を除く）に占めるスカウト全体では73.1%でした。一方、指導者の割合は26.9%と昨年より若干低下しました。

■ 部門別事故発生割合 (n=178)



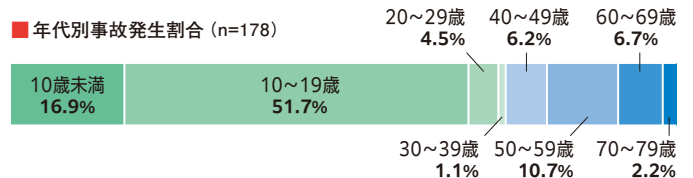
■ 指導者/スカウトの事故発生割合の変化



## 年代別

年代別では19歳までの割合が68.5%にあたる122人でした。20代8人、30代2人と少数ですが、40代11人、50代19人、60代12人を占めました。70代でも4人の事故報告がありました。

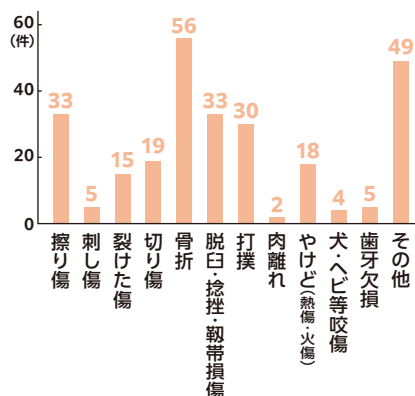
■ 年代別事故発生割合 (n=178)



## 傷病別（延べ数）

傷病別では「骨折」の割合が最も多く、昨年度より17件増加の56件で第1位でした。第2位は「擦り傷」と「脱臼・捻挫・靭帯損傷」で昨年度から増加の33件でした。第3位の「打撲」は昨年度の17件から13件増加の30件でした。これら4傷病で全傷病の56.5%を占めています。

■ 傷病別事故発生件数と事故割合（n=269）



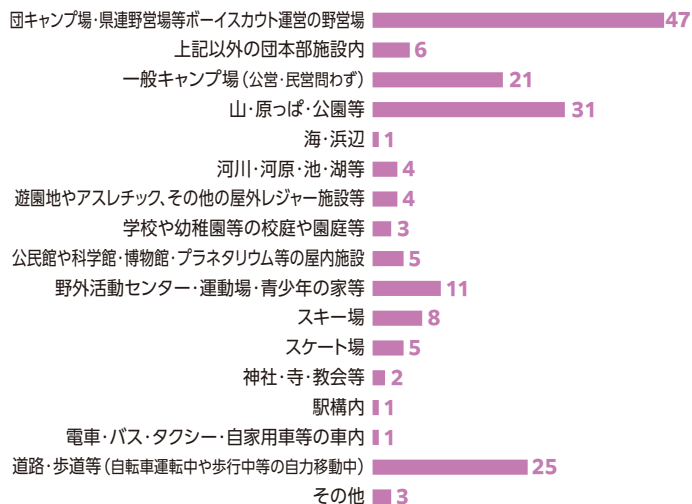
「その他」の項目はそのほとんどがマダニなどによる虫刺されです。事前の準備や適切な服装をすることで被害を減らすことができます。また「その他」の中には熱中症も見られます。活動が活発化することで熱中症のリスクが高まるのが懸念されます。

## 発生場所

事故の発生場所として最も多かったのは「団キャンプ場・県連盟野営場等ボーイスカウト運営の野営場」でした。ついで「山・原っぱ・公園等」です。COVID-19により活動が抑制されていましたが、活動が再開されることにより野外での事故発生が増加しています。

また移動中の事故も引き続き多く発生しています。移動中は大きな事故につながる可能性が高く、今一度安全に対する意識が必要です。

■ 生場所と発生件数



## まとめ

共済事業に移行して8年目、COVID-19が流行してから2年目の事故分析となりました。例年と比較すると活動は縮小しましたが、前年度と比較すると活動数の増加に伴い事故発生件数も増加しています。受傷内容も重傷化の傾向にありますので今一度安全に対して高い意識を確認いただきたいと思います。分析において気になった点をまとめました。

**第一に**、各部門における傷病の上位に骨折や脱臼など重傷化しやすいものがあるということです。これらの傷は完治までに長い時間を要するとともに、日常生活における制限も多くなります。行動前に体を十分にほぐしておくことなど事前の準備を十分に行うことも有効と考えられます。

## 活動内容

ビーバー部門での事故1位は「準備・かたづけ」で3件、2位は「水遊び」で2件でした。指導者などが準備・かたづけをしている際に事故が発生しています。

カブ部門での事故1位は「ハイキング・ナイトハイク」で8件、2位は「ゲーム」「休憩中・自由時間等」「移動中」で各4件でした。ハイキングなど活発な活動の中で事故が発生しています。

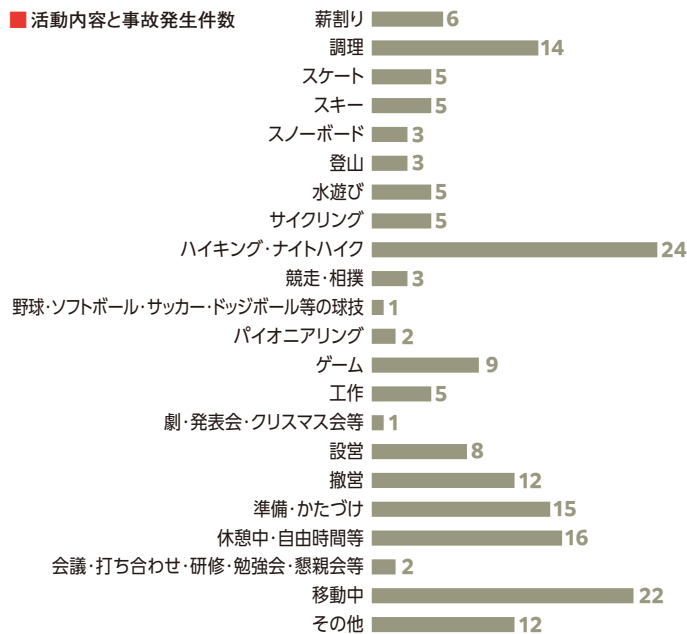
ボーイ部門での事故1位は「調理」「ハイキング・ナイトハイク」で各8件、2位は「休憩中・自由時間等」で6件でした。調理中の事故として熱湯による火傷が多くなっています。誤って倒してしまうなどの事故であり、周囲の整理整頓や作業時の声掛けなどで事故を減らすことも可能かと思えます。

ベンチャー部門での事故1位は「スノーボード」「ハイキング・ナイトハイク」「準備・かたづけ」で各2件でした。

ローバー部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」「移動中」で各3件でした。

指導者の事故1位は「移動中」で8件、2位は「撤営」で5件でした。

■ 活動内容と事故発生件数



■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

部門	最も事故が多かった活動内容	プログラム
ビーバースカウト	準備・かたづけ [3件]	
カブスカウト	ハイキング・ナイトハイク [8件]	
ボーイスカウト	調理/ハイキング・ナイトハイク [各8件]	
ベンチャースカウト	スノーボード/ハイキング・ナイトハイク/準備・かたづけ [各2件]	
ローバースカウト	休憩中・自由時間等/移動中 [各3件]	
指導者	移動中 [8件]	

**第二に**、マダニによる傷病が多く見られることです。マダニに咬まれることでダニ媒介感染症のリスクも高まります。マダニは春から秋にかけて活発に活動するといわれています。草むらや藪などに立ち入る場合、長袖長ズボンの着用、足を完全に覆う靴、帽子や手袋の着用など肌の露出を少なくすることが大切です。

**最後に**、移動中の事故がスカウト・指導者問わず多いことです。車道や歩道での事故は大きな怪我の可能性があり、周囲の方を巻き込む可能性があります。交通ルールの順守はもちろん、自転車のヘルメットなどの保護具の着用により、事故の発生を抑止と怪我の防止に努めましょう。





## 第13回 日本アグーナリー

特別な支援が必要な国内外のスカウト、指導者が集まり、キャンプ生活を通じて「共生社会」の実現を目指す国際障がいスカウトキャンプ大会「日本アグーナリー」。4年周期で開催しているアグーナリーは2020年に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2024年に延期となりました。

来年の夏、待ちに待った「第13回日本アグーナリー」を福島・国立磐梯青少年交流の家で開催いたします。

### 大会概要

期 間 2024年8月8日(木)  
～12日(月・祝)  
スタッフは8月7日(水)集合

会 場 福島・国立磐梯青少年交流の家  
[福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原7136-1]

最寄り駅 猪苗代駅

参加対象 ・障がいのあるスカウト  
・一緒に活動を希望するスカウト  
・ボーイスカウトに加盟のない青少年

大会規模 900人

### 現地説明会の参加申込受付中

期 間 2023年8月19日(土)  
～20日(日)

会 場 福島・国立磐梯青少年交流の家

現地説明会への参加申込方法は  
WEB ページをご覧ください。

[https://www.scout.or.jp/  
member/13na/](https://www.scout.or.jp/member/13na/)



### シンボルマーク決定

開催予定であった2020年から4年の月日が経ち、障がいなどの多様性を認め支え合う共生を目指した社会(ダイバーシティ&インクルージョン)に変わろうとしています。大会実行委員会では、これまで大会の準備にあたっていた方々の想いを引き継ぐとともに、新しい大会を作っていくためにシンボルマークも新しく選定いたしました。

※制作者の了承を得てデザインの一部を変更する場合があります。



入選 福田 真幸 (大阪連盟箕面第2団)

会場である国立磐梯青少年交流の家から望むことができるであろう「大磐梯」と「榎ヶ峰」のシルエットを用いました。シルエットの中には丸が連結して日本列島を形成し、全国から集まったスカウトをイメージしています。さらに Agoonoree 中の「o」を福島の位置を示すプロットのアイコンにしました。

佳作 関口 榮幸  
(福島連盟猪苗代第1団)



### ローカルホットライン

# Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他



## 千葉 2023年トルコ・シリア地震 救援金募金

船橋第14団

2月19日、ベンチャースカウトたちの発案により団BP祭の一部の時間を使って「2023年トルコ・シリア地震救援金募金」を実施しました。ビーバー隊からローバー隊まで総勢40人のスカウト・指導者が、新京成線北習志野駅周辺3か所で募金を呼び掛けたところ、多くの方々からご協力いただきました。集まった79,247円は日本赤十字社に送金いたしました。

## 島根 英語百人一首

島根連盟事務局

山陰中央新報に、島根連盟のボーイスカウト大社第1団の小学3年生から高校3年生までの27人が、英語版の百人一首に参加した様子が掲載されましたのでご紹介します。



「出雲出雲市の児童、ミンさん(相模女子大生徒が21日、出雲大社社務所へ出雲市大社町竹葉東で英語版の百人一首を体験したので、児童、生徒は熱戦を交わした。アイルランド出身の練習広げた。翻訳家ビクター・J・マク、東五輪ハリソンビックが読み上げた札に反応する児童」

マクミランさん(奥左から3人目)が読み上げた札に反応する児童＝出雲市大社町竹葉東、出雲大社

市立多岐中学校2年の柳海翔さん(右)は「英語なので難しかったが、またやってみよう」と話し、マクミランさんは「子どもたちが熱心に取り組んでくれたので、とてもうれし」と喜んだ。(藤原康平)

### 耳澄ませ英語百人一首

でアイルランドのホストタウンになった益田市との交流事業に際し、マクミランさんが提案し、実現した。ボーイスカウト大社第1団に所属する市内の小学3年生から高校3年生の27人が参加した。

学生ごとに4部門に分かれ、読み手はマクミランさんが務めた。児童・生徒は畳の上で正座。英語で読まれる句に耳を澄ませ、20枚ある札の中から勢いよく手を伸ばした。

紙面編集・原 宏光

山陰中央新報(2023年1月23日掲載)



# ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金にご寄付をいただいた方

2021年12月からはじめた100周年記念募金は2023年3月31日をもって終了いたしました。本当に多くの皆さまにご支援をいただき誠にありがとうございます。これまでにご寄付いただいた方を順次ご紹介しています。

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【北海道】</b><br/>北野 和<br/>高野 ひとみ<br/>北 秀継<br/>宮崎 寿弘<br/>新宅 龍二<br/>北海道神宮<br/><b>【青森】</b><br/>鈴木 嘉昭<br/>三村 申吾<br/><b>【岩手】</b><br/>浅沼 節子<br/>千葉 章浩<br/>菱和建设(株)<br/>日東自動車工業(株)<br/><b>【宮城】</b><br/>千田 好男<br/>松岡 健美<br/>亀山 満昭<br/>橋浦 寛<br/>鷲 敏之<br/>大泉 学<br/>千葉 義博<br/>河津 基<br/><b>【秋田】</b><br/>熊谷 正司<br/>中川 猛夫<br/>長里 万里子<br/><b>【山形】</b><br/>相澤 俊一<br/>高橋 裕美<br/><b>【福島】</b><br/>服部 亮市<br/><b>【茨城】</b><br/>青木 正志<br/>八城 健彰<br/>本間 昭人<br/>伊澤 清実<br/><b>【栃木】</b><br/>新井 政一郎<br/>星野 典雄<br/>BS今市2</p> | <p><b>【群馬】</b><br/>夏目 正<br/>岡田 和子<br/>利明<br/><b>【埼玉】</b><br/>上田 敬治<br/>小川 岩夫<br/>細井 逸哲<br/>中村 哲<br/>前川 静男<br/>樋渡 重利<br/>時計 一昇<br/>柳下 寛<br/>高野 弘一<br/>横田 住吉<br/>住吉 秀幸<br/>鈴木 泰二郎<br/>BS川口19<br/>BSさいたま13<br/>(株)古沢商店<br/>(株)双葉発條工業所<br/>(株)コアサポート<br/>横井電気工業(株)<br/><b>【千葉】</b><br/>平田 玲子<br/>太田 大州<br/>小西 章夫<br/>最首 守雄<br/>小林 恒行<br/>宇山 利幸<br/>中川 義将<br/>小黒 将年<br/>川上 智子<br/>小野 泰紀<br/>荻野 茂<br/>平野 善史<br/>海老坪 聡<br/>五十嵐 周吾<br/>岩館 孝人<br/><b>【神奈川】</b><br/>斉藤 彰<br/>須藤 守之</p> | <p>遠藤 直樹<br/>鈴木 令子<br/>白倉 栄太郎<br/>坂山 盈<br/>WARNAKULAS<br/>PRASAD DUN<br/>當麻 洋一<br/>馬場 文香<br/>中川 直路<br/>林 良安<br/>若松 優吾<br/>孫川 裕<br/>村瀬 剛徹<br/>中栄信用金庫<br/><b>【山梨】</b><br/>藤原 進<br/>青山 響<br/>石橋 隆秀<br/><b>【東京】</b><br/>飯島 大豊<br/>飯上 潤平<br/>小林 秀幸<br/>荒木 幸博<br/>村井 光弘<br/>村垣 恭子<br/>小山 典子<br/>松原 尚樹<br/>稲吉 尚文<br/>安部 良徹<br/>大石 和夫<br/>吉村 利信<br/>北爪 太圭司<br/>岡田 勇次<br/>加藤 純二<br/>草野 惠一郎<br/>高橋 誠一<br/>平岡 努<br/>飯塚 正秀<br/>花島 克夫<br/>池田 猛<br/>鈴木 秀男<br/>下地 俊一</p> | <p>花 加藤 裕一<br/>湖 芽依<br/>加藤 麻子<br/>山崎 邦男<br/>越 博明<br/>吉野 喜一<br/>豊 文一<br/>漆原 孝悦<br/>北崎 久成<br/>尾崎 征幸<br/>額谷 勝興<br/>高橋 道則<br/>中山 勝興<br/>高橋 興<br/>満呂 木 淳<br/>B S 練馬 7<br/><b>【新潟】</b><br/>長谷川 圭介<br/>渡辺 誠<br/><b>【富山】</b><br/>松谷 英真<br/><b>【石川】</b><br/>大橋 友啓<br/>橋本 良助<br/>手井 博史<br/><b>【福井】</b><br/>籠 義則<br/>西畑 光廣<br/>東 宏昭<br/>義 憲<br/><b>【長野】</b><br/>丸山 正一<br/>丸山 輝子<br/>三枝 昭文<br/>小川原 幸雄<br/>鹿嶋 由也<br/>遠藤 はるみ<br/>B S 茅野 1<br/><b>【岐阜】</b><br/>谷山 鉄信<br/>中嶋 広志<br/>(株)マルエイ 大塚文店<br/><b>【静岡】</b><br/>大須賀 和美</p> | <p>小 裕 小 茂 子<br/>城 一 城 子<br/>北 村 誠<br/>山本 真一<br/>大川 靖夫<br/>濱田 敏彦<br/>鈴木 均<br/>小野寺 均<br/>太田 勇成<br/>金子 智一<br/>B S 金谷 1<br/><b>【愛知】</b><br/>申崎 志<br/>加賀 敏之<br/>早川 権慈<br/>横井 光<br/>溜島 光勝<br/>三枝 早貴<br/>上原 真<br/>宇野 眞之<br/>安 芳朗<br/>内藤 吉文<br/>勤一 邦政<br/>藤江 克美<br/>中村 耕治<br/>横江 昭憲<br/>吉岡 野<br/>波多 智也<br/>石黒 智也<br/>中村 倫之<br/>中山 和歌代<br/>佐藤 陽介<br/>岩田 秀雅<br/>酒井 隆臣<br/>茂木 謙二<br/>羽根田 賢<br/>糟谷 尚治<br/>B S 豊川 4<br/>天野エンザム(株)<br/>岡谷不動産(株)<br/>(株)知多環境研究所<br/>尾関 正浩</p> | <p><b>【三重】</b><br/>森 淳之祐<br/>山岸 廣二<br/>猿田 彦神社<br/><b>【滋賀】</b><br/>小菅 邦彦<br/>小林 隆夫<br/><b>【京都】</b><br/>長谷川 綉二<br/>安達 昌成<br/>中井 敬二<br/>三木 一晧<br/>船橋 克広<br/>林 吉則<br/>西野 賢一<br/>千 空室<br/>熊井 猛浩<br/>田中 公郎<br/>祝部 昭夫<br/>(株)ケーオーシー<br/>石清水八幡宮<br/>石清水八幡宮<br/>宮田 恒清<br/><b>【兵庫】</b><br/>後藤 敦也<br/>荒川 清治<br/>林田 平八郎<br/>豊原 正尚<br/>勝見 順三<br/>荒西 完治<br/>渡邊 しのぶ<br/>支倉 巨人<br/>名越 亮<br/>清野 善樹<br/>横山 裕司<br/><b>【奈良】</b><br/>岡本 勝己<br/>辰己 駿一<br/>渡土 正弘<br/>藪岡 克美<br/>川口 昌利<br/>村田 禎章<br/>B S 北葛城 1</p> | <p>B S 生駒 1<br/><b>【和歌山】</b><br/>北畑 耕作<br/>阪井 和生<br/>平井 孝朗<br/>森下 光生<br/>尾野寺 常芳<br/>中西 亮博<br/>島本 博明<br/><b>【大阪】</b><br/>井上 菊信<br/>喜多 文夫<br/>膳師 功宏<br/>川口 明久<br/>鈴木 晴吉<br/>井口 貴文<br/>高矢 恒<br/>川口 哲生<br/>田中 文平<br/>原田 勝次<br/>豊中カトリック<br/>スカウト育成会<br/>B S 大阪 72<br/>(株)芝浦照明<br/><b>【鳥取】</b><br/>秋本 道德<br/>伊澤 真志<br/><b>【島根】</b><br/>千家 尊祐<br/>千家 隆比古<br/>澤 真吾<br/>出雲 大社<br/>出雲 大社教<br/><b>【岡山】</b><br/>西山 勝正<br/>B S 都窪 2<br/><b>【広島】</b><br/>西濱 清士<br/>横田 光則<br/>桑原 幸夫<br/>小川 悦伸<br/>藤間 幹夫</p> | <p>西田 雅行<br/>山崎 恵<br/>高橋 眞紀<br/><b>【山口】</b><br/>池田 信幸<br/>小野 泰<br/><b>【徳島】</b><br/>荒木 隆治<br/><b>【香川】</b><br/>吉田 往嗣<br/>大西 栄生<br/>若井 敬夫<br/>天雲 守<br/>今田 武敬<br/>湖崎 扶彰<br/>今岡 秀憲<br/>細井 俊道<br/><b>【愛媛】</b><br/>井上 昌俊<br/>規 義史<br/>児玉 勝志<br/>近藤 浩志<br/>近藤 浩志<br/>えびめスカウトクラブ<br/>BS愛媛県連盟<br/>BS松山地区振興会<br/>B S 松山 7<br/><b>【高知】</b><br/>矢吹 了一<br/><b>【福岡】</b><br/>大蔵 大蔵<br/>浜辺 百合子<br/>田添 二郎<br/>田添 郁子<br/>田添 英嗣<br/>B S 春日 1<br/>BS北九州45<br/><b>【佐賀】</b><br/>牟田 雄毅<br/>石井 二三夫<br/><b>【長崎】</b><br/>キング</p> | <p><b>【大分】</b><br/>戸高 有基<br/><b>【宮崎】</b><br/>黒木 省子<br/>池本 要<br/>鈴木 至<br/><b>【鹿児島】</b><br/>内藤 宗保<br/>西 昌平<br/><b>【日本】</b><br/>福原 有一<br/>平原 康至<br/>松原 光治<br/>松原 俊文<br/>菊池 節夫<br/>渚澤 和也<br/>奥島 孝康<br/>佐藤 哲也<br/>何 偉文<br/>二階堂 寛<br/>共立印刷(株)<br/>キヤノン(株)<br/>三菱UFJ信託銀行(株)<br/>三菱UFJ証券<br/>ホールディングス(株)<br/>アコム(株)<br/>大成建設(株)<br/>(株)日立製作所<br/>(株)モンベル<br/>損害保険ジャパン(株)<br/>ヤマトホールディングス(株)<br/>(株)大塚理教<br/>大日本 總持寺<br/>三井住友海上火災保険(株)<br/>SHEUNG TUNG ERIC LEE<br/>WING HONG TSANG<br/>(株)朗シスコ<br/>ジャストサービス(株)<br/>日本スカウトライオンズ</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 滋賀 発団50周年

大津第15団 団委員長 徐一雄

ボーイスカウト大津第15団は、2022年10月23日に発団50周年を迎えました。

春は、山菜の天ぷらに舌鼓。近年は、ピワイチ(琵琶湖一周)にもチャレンジしています。

夏は、琵琶湖ならではのカヌー体験。秋は、比叡山へハイキング。冬は、石臼でのお餅つきやスキー合宿も行っています。自然に触れて感じ取る機会を大切に、これからも元気いっぱい活動を続けていきます。



## 鳥取 成長への一歩に

倉吉第3団 団委員長 福田 京子

富士スカウト章を受章した鳥取連盟倉吉第3団ベンチャースカウトの隅直也さんが、平井伸治鳥取県知事、足羽英樹鳥取県教育委員会教育長に受章の報告のため、表敬訪問しました。

また、広田一恭倉吉市長、小椋博幸倉吉市教育委員会教育長にも表敬訪問し、受章の報告と進級までの取り組みについて説明を行いました。皆様からは受章のお祝いとともに、後輩スカウトの目標となるよう今後の活動に大いに期待するとの励ましのお言葉を頂戴いたしました。



日本海新聞 (2023年3月21日掲載)



# ❶ 全国からのご支援に感謝!!

## 目標 140% 達成!!

ボーイスカウト日本連盟 初めてのクラウドファンディングに挑戦

### 100周年記念 | ひとり親家庭の子ども 100人へボーイスカウト体験を

ひとり親家庭の子どもたちにボーイスカウトをとおして体験活動の機会を提供することを目的としたクラウドファンディングに、314人の方からご支援をいただき、当初の目標を大きく超えて達成することができました。たくさんの応援メッセージの中には、ボーイスカウトでの思い出や活動を紹介いただくとともに「こんなすてきな寄付をさせてもらってありがとう」と逆に感謝の言葉をいただきました。改めて襟を正し、お預かりした寄付の使い道をしっかりと伝えていきたいとします。本ページでは、クラウドファンディングにご支援いただいた皆さまの中で、お名前の掲載許可をいただいた方のみご紹介をさせていただきます。

(順不同)

山田 泰久	長岡 俊宏	山本 浩介	前川 純平	木下 訓明	牧島 宏之
間辺 初夏	石川 香織	脇田 優二	山田 哲司	山崎 麻子	金子 芳博
尾関 正浩	深谷 正和	川瀬 政美	竹内 幸輔	佐藤 武信	鈴木 市男
上田 敬治	平田 玲子	松浦 大輔	堀崎 佳代子	武島 英巴	西岡 一也
塩川 晃平	鈴木 伸章	高師 有二郎	水書 祐美子	藤田 卓也	中嶋 広志
後藤 あけみ	・一史・馨梧	浦田 健司	柴田 伸彦	佐茂 正之	丸山 博司
入澤 靖幸	竹山 勉	中野 正	山本 哲	酒井 一成	乙訓 敬仁
林 吉則	吉村 敏	大浦 秀樹	鈴木 哲	柴崎 勇人	友澤 晴美
松倉 久英	伊藤 芳績	杉江 宜明	川口 由美	湯 昌美	望月 ちな美
高見 和宏	宇津木 太	山尾 克子	柴田 守男	額谷 征幸	丹羽 博之
井上 義雄	水谷 有加	伊藤 篤敬	生田 元典	三枝 慎	小藤 俊一
中野 秀知	荒川 正子	吉田 司	小堤 泰	小池 政利	宮里 伸一郎
近藤 郁雄	古莊 雅生	小茂田 岳広	智原 正志	鈴木 俊明	松尾 和英
村上 雅幸	松永 清美	飯田 菜月	遠山 一晃	入江 生夫	磯畑 雄三
三木 千穂里	山本 慎太郎	亀田 旭洋	和田 剛和	西山 耕	持木 達夫
今村 勝	佐々木 信吾	永井 淳	武田 和也	池戸 伸隆	
白川 龍彦	根木 浩路	小池 飛翔	菊池 博之	池間 高博	
鈴木 利幸	片寄 朗	倉成 佳代子	比地原 草平	稲田 昭	
井上 雅己	澤 朋宏	鶴田 一成	徳野 精平	栗原 均	
城戸 琢磨	由良 純	中尾 重光	只野 太一	深田 徹	

これまでのひとり親家庭支援の取り組みにおいて、活動している  
スカウトや保護者の方から声をお寄せいただいています。

今年度、一番楽しかったことは夜間ハイクです。夜に歩くという普段は経験することのない体験ができました。夜に長い距離を歩くので、疲れたり眠ったりすることもありますが、その分到着した時はものすごく大きな達成感が味わえます。この達成感、歩いた人しか味わえない貴重な体験だと思います。そんな達成感を味わえた夜間ハイクはとても楽しかったです。また参加したいです。

カブ隊で学んだことや、ボーイ隊で経験してきた事を忘れずに、自分のために、しゃやく人のために、今更支つ人になりたいです。

#### 保護者から

小学生になって、沢山色々な事にチャレンジして、色々な経験が、私にも楽しみの一つです。1年生の秋頃から不登校になり、家にこもりがちではあったのに、スカウトの活動だけは本心が希望し、沢山の笑顔を見せてくれました。不登校のつらい時期を乗り越えたのもスカウトのおかげです。これからも楽しみにしています。

## スカウトOWN・サービスの思い出

信仰奨励小委員会 品田 千絵保

皆さんの「好きな歌」はどんな歌でしょう。年齢(世代)によってさまざまな歌が心に残っていると思います。この「心に残っている」というのがポイントです。背景がある、思い出がある……それぞれのシーンがありますね。

では、「スカウトSONG」ではどうでしょう。たとえば「ジャンボリーSONG」。事前に何度も練習して、大会中は自然と口ずさみ、そして大会後に音楽を聴くと自分たちのジャンボリーのいろいろな思い出がよみがえる……なんてことはありませんか？

こんな気持ちになるのが歌です。スカウトSONGはスキルではなく、スピリッツです。私たちが共に歌うことのできる仲間のしるしです。

では、スカウトOWN・サービスの思い出の歌はありますか？ 皆さんはスカウトOWN・サービスを行うときにどんな歌を歌いますか？「歌っていない」「いつも同じ歌」という声も耳にします。また、「どんな歌がふさわしいのでしょうか？」などといった質問を受けることもあります。何でもよいわけではありませんが、この歌！と、決まった歌はないのです。

スカウトOWN・サービスのお話の内容にあてはまる歌がない時は、「今、この時を共にするのだから、一緒に歌いましょう」と、好きな歌を歌えばよいのです。歌詞がわからなければハミングでも構いません。

スカウトOWN・サービスは、自身の信仰心を高揚するために行います。共に歌ったその歌をどこかで耳にした時、スカウトOWN・サービスのシーンが思い出されるでしょう。「誠実」だったことや「勇敢」だったこと「親切にされた」ことを語ったその時と仲間の顔を思い出すことで「ちかい」と「おきて」を身近に感じることができるはずです。



## ご支援ありがとうございます

## 維持会員(敬称略)

2023年1～2月度

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方です。

## 【北海道】

中村 ちひろ  
吉田 源彦 永瀬 利彦  
経森 等 鎗田 浩二  
渡邊 伸夫 近藤 曠史  
佐藤 満雄 伊藤 進  
BS北見2 嶋田 敏裕  
BS札幌22 BS八千代2

## 【青森】

高瀬 厚太郎 BS松戸鎌谷地区  
川島 明 BS瀬田地区  
照井 大観 廣瀬建築研究所  
鈴木 嘉昭 白倉 栄太郎

## 【岩手】

坂山 盈  
尾形 善且 川合 逸平  
BS盛岡5 葛西 映子

## 【宮城】

BS鎌倉5  
東海林 良雲 BS相模原7  
【茨城】 BS川崎38  
三浦 勉 BS横浜79  
戸舘 善敬 BS横浜114

## 【山梨】

石橋 隆秀  
BS栃木県連盟  
【群馬】 五十畑 康則

## 【栃木】

諸越 邦男  
小堀 剛 鈴木 秀男  
関 幸子 入江 生夫

## 【埼玉】

望月 洋一  
浅野 麻利子  
牛山 佳久 佐野 弘明

## 【新潟】

花鳥 克夫  
神田 三枝 呉 彰夫  
山口 仁司 吉野 博明

## 【東京】

西尾 健  
新井 豪 横溝 宏明  
BS川口15 西澤 正之  
BSさいたま9育成会 藤村 満  
BSさいたま11育成会 上山 公子

## 【千葉】

鈴木 健之  
花田 健二 鈴木 健之  
太田 尻 工 向井 宗晴

大井 康裕

日比野 幸男

阿部 健一郎

飯塚 正秀

大谷 亮雄

BS三鷹1

BS台東2

BS台東3

BS文京3

BS調布3

BS調布10

BS江東6

BS練馬7

BS墨田8

BSあすなろ地区

BS練馬地区

圓 成 寺

【伊】イリエ

【新潟】 関川 憲司

渡辺 誠

中山 和歌代

市川 宗章

今井 浩二

吉田 至夫

国際口一タリ

第2560地区

【石川】 石橋 隆秀

【東京】 五十畑 康則

朝日 道造

【富山】 諸越 邦男

義浦 実

BS富山地区

【石川】 改田 秀一

水野 四郎

【長野】 水野 四郎

木下 昭男

BS上田13

【岐阜】 西尾 健

若園 輝夫

田中 忠彦

太田 尚宏

奥飛観光開発

【静岡】 鈴木 健之

瀧島 金吾

柴田 尚道

鈴木 均

中嶋 正志

大沼 博政

濱田 敏彦

渡邊 聡

杉山 伊佐子

志賀 裕人

橋本 智弘

BS静岡県連盟

BS磐田地区

【伊】パイラスセンター

風間重樹

ハッピーストア

【愛知】 足立 武

石原 真二

澤田 清

白井 利幸

岩田 英明

中山 和歌代

市川 宗章

稲垣 徹男

外山 悟

柴田 吉彦

足立 純一

富田 昭則

池田 由利子

BS豊橋5

BS常滑6

BS豊川5

BS豊川7

BS岡崎5

BS岡崎12

BS名古屋1

BS名古屋12

【愛知】 深谷 行弘

【三重】 小澤 和代

森 尚美

森 久司

竹村 千佳子

宮城 麻利枝

宮城 佳典

日本防炎三重県支部

【滋賀】 岡村 誠子

野村 善一

【京都】 西野 賢一

熊井 猛浩

津田 繁

BS京都65

(株)ケーオーシー

BS磐田地区

(株)ウラル保険事務所

【兵庫】 伊賀 政雄

富永 和也

森 正浩

小谷 重男

枝根 秀男

藤田 智之

菊妻 隆和

西 和彦

大垣 昭博

【奈良】 岡本 聡

敷岡 克美

嘉根 徹

渡土 正弘

(株)永井 永井憲一

【和歌山】 山本 一郎

嶋田 士郎

森下 正紀

池田 直弘

新屋 美穂

山田 孝二

【大阪】 徳遍 照尊院

大阪天満宮

宮司 寺井 種治

樽谷 進

高見 篤志郎

山原 誠

鈴木 利明

【岡山】 植中 和彦

二宮 雄一

BS都窪2

【広島】 橋本 貢

平野 宏一

【山口】 南 一成

杉山 滋

【徳島】 荒木 隆治

【香川】 宮野 義久

辰野 恵一

妹尾 修

【福岡】 稲葉 武彦

青谷 麻紀子

郡島 三暁

御田 良知

大神 和恵

上田 真樹

岳 康宏

BS筑紫2育成会

三池 物産

【佐賀】 江見 喜充

内田 日出男

【宮崎】 村永 盛哉

鈴木 至

【鹿児島】 松林 大生

村上 貞彰

西 昌平

【日本】 竹内 康人

白井 堯子

栗田 哲郎

真宗大谷派宗務所

青少年センター

(株)関東警備システム

(株)淡澤徹章製作所

マンスリーサポート  
維持会員1～2月に入会または1年継続され  
た方々です。毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落  
としによる維持会費のお支払いが可能です。<https://www.scout.or.jp/support/>

## 【青森】

三浦 雅人

相馬 雅之

【埼玉】 内山 豊和

豊和

大田 寛

杉崎 厚

【神奈川】 佐野 友保

中島 一郎

【山梨】 中村 忍

【東京】 村山 正

森谷 治男

石井 琢磨

白川 雅之

指田 守昭

肥沼 裕史

山本 慎太郎

成瀬 晃司

只野 太一

水野 重俊

溝呂木 淳

谷茂岡 泰

【福井】 大刀 隆雄

【岐阜】 太田 尚宏

【静岡】 川村 悦子

西山 考司

## 【愛知】

中尾 武志

中島 資浩

森 裕次

高見 本子

藤高 功一郎

深谷 正和

【滋賀】 嶋田 寛

大塚 潔

【京都】 津田 繁

福岡 大吾

紀田 宏

【兵庫】 藤原 健資

武藤 伸太

【奈良】 城戸 琢磨

田村 聡子

【和歌山】 中谷 新治

【大阪】 関下 正司

横山 稔

市橋 與宜

井口 雅公

【鳥取】 坪倉 顕示

【島根】 那須 智浩

【山口】 高村 義則

【徳島】 石本 康樹

2023  
No.756  
7

## SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、令和5年7月1日発行

## 社会とともに歩むスカウティング

広く社会と関わる本運動の展開についてご紹介します。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』担当

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262(代表) Eメール [scouting@scout.or.jp](mailto:scouting@scout.or.jp)

投稿規定/本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 『スカウティング』2023年5月号 No.755 令和5年5月1日発行(奇数月1日発行)  
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封して送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封)②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2023 / 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

## SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字をコピーできますので、さまざまな資料に、簡単に引用できます。また、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



# トルコ・シリア大地震 支援ワッペン

2023年2月6日、トルコ南部のシリアとの国境付近で大きな地震が発生し、甚大な被害が出ています。

救援活動が行われている中、スカウトたちも救援活動を展開しています。

ぜひ、スカウトたちの活動への支援をお願いいたします。

寄付  
商品

販売価格(税込)

500円

この商品で得た利益はすべてトルコ・シリア地震へ寄付されます



好評販売中！商品詳細は公式オンラインショップへ  
【SCOUT SHOP JAPAN】 <https://www.scoutshop.jp/>

SCOUTING 2023/5

755

スカウトイング  
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
令和5年5月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ホーイヌカウト日本連盟  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03(6913)6262(代)

定価 ¥200 (税込)  
郵便振替 00130-1-66119  
口座名義 公益財団法人ホーイヌカウト日本連盟



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

